

## 報告書抄録

ふりがな	とのがわちさだやのまえいせき							
書名	殿河内定屋ノ前遺跡							
副書名	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	Ⅲ							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	45							
編著者名	牧本哲雄・岡田裕之							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL(0857)27-6711							
発行年月日	2012(平成24)年3月19日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査 面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
とのがわちさだやのまえいせき 殿河内定屋ノ前遺跡	とっとりけんさいはくぐんだい 鳥取県西伯郡大 せんちょうとのがわちあざ 山町殿河内字 さだやのまえ 定屋ノ前514-2 ほか	31371	大山 4- 327	35° 30' 29"	133° 33' 56"	20100401 ～20101216 20110819 ～20110930	10,076㎡ 855㎡	一般国道9号 (中山名和道 路)の改築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
殿河内定屋ノ前遺 跡	集落	縄文時代		落とし穴		縄文土器		
		弥生時代		竪穴建物跡、 掘立柱建物 跡、土墳墓、 土坑、柵列、 溝		弥生土器、土製 品、石器、管玉、 鉄器		焼失住居2 分銅形土製 品5
		古 代		道路		須恵器		
		近世以降		道路・石列		陶磁器		
要約	<p>殿河内定屋ノ前遺跡は、縄文時代から古代にかけての集落遺跡で、縄文時代では多数の落とし穴が検出された。弥生時代は中期にまとまって集落が形成されている。奈良時代では道路が造られている。</p> <p>出土遺物には、縄文土器、弥生土器、古代の土師器・須恵器、近世陶磁器、鉄器、石器、玉製品などがある。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 45  
一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ

鳥取県西伯郡大山町

## 殿河内定屋ノ前遺跡

発 行 2012年3月19日  
編 集 鳥取県埋蔵文化財センター  
〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地  
電 話 (0857)27-6711  
発行者 鳥取県埋蔵文化財センター  
印 刷 株式会社鳥取平版社  
〒680-0845 鳥取市富安1丁目79



